

令和3年12月22日（水）～26日（日）

【報告】エンパワーメントプログラムを実施しました！

12月22日（水）～26日（日）の5日間でエンパワーメントプログラムを実施しました。今年は39名（1年生23名、2年生16名）が参加しました。本校での開催は3年ぶりとなりました。本プログラムは、本校を会場に、国際理解教育プログラムの一環として、グループリーダー役の大学生7名、進行役1名、計8名の日本の大学に通う外国人留学生を招いて行う、5日間英語漬けの研修です。このプログラムを通して、生徒は多くのことを身につけることができます。英語コミュニケーション力のみならず、物事を深く多角的に考える思考力、ディスカッション・プレゼンテーション力、そして、自らを肯定的にとらえる思考を学べることにより主体的に物事に取り組む力、等々です。また、実施にあたっては、双松会の「世界の人たれ！北高生」基金より参加費の助成をいただきました。

プログラム1日目（22日）初日は、グループリーダー（留学生）とも初対面でした。また、同じ北高生ではあるものの、学年・クラス・性別も違うグループメンバーに囲まれて自ら英語で話していくことに戸惑いを感じている様子でした。それでも終盤ではグループリーダーのリードのもと、質問を順々に受ける中で、少しずつ英語で話すことに慣れてきました。

プログラム2日目（23日）は、午前中は Positive Thinking について考えました。1日目に比べると生徒も場に慣れてきている様子が見られました。自分や他人の良い面に気づかされ、リラックスした雰囲気の中で、初日より発言する声がずいぶん大きくなり、自信を持って英語を話している姿がみられはじめました。

プログラム3日目（24日）は午前中、自分自身のことについて My Identity というテーマで皆と考えました。午後のプロジェクトでは未来のテクノロジーと私たちの生活についてグループで意見をまとめ、グループごとに発表しました。演劇のように全員が個々の役割を果たし、堂々と英語で未来のテクノロジーについて発表する姿が見られました。また、発表中には必ず笑いが起きるような和やかな場面があり、帰るころ生徒たちの顔には少しずつ自信が見られるようになりました。

プログラム4日目（25日）は午前中、Leadership について考えました。日本人は「自分はリーダーである」と自信を持って言える人は少ないですが、講師役から、「兄弟がいれば、あなたはリーダーでしょ？」と問われ、非常に身近なことから、生徒たちは自分が「リーダー」であることを気づかされました。グループリーダー役の留学生たちは発表で、「国に帰り、〇〇を変えたい」という発言を多くしており、自らをリーダーと考えることに抵抗がないその姿に生徒たちも刺激を受けていました。午後は、明日に迫った最終日の最終プレゼンテーションに向けて構想を練る時間があり、生徒たちは熱心に取り組んでいました。

プログラム5日目（26日）、最終日でした。午前中は Diversity(多様性)について意見を交わした後、最終プレゼンに向けての準備を行いました。生徒たちのプレゼン準備に向かう姿勢から、緊張の中にも意気込みを感じ、会場も熱気を帯びてきました。午後は全体写真を撮った後で、双松会の先輩方に ZOOM を通じてお礼を述べた後、最終プレゼンが始まりました。一人一人がこの研修の成果の集大成と言える発表をしました。その内容からはこの5日間という短い間の研修の中で、見ているものにも十人十色の気づきがあったことを感じさせ、客観的にも主観的にも個々の成長が見て取れる堂々たる素晴らしい内容でした。

最終プレゼンを終え、プログラムが終わった生徒の顔は、安堵と笑顔が溢れ、充実感が見て取れました。また、グループを率いてきた留学生との別れを惜しみ、涙する生徒も見られました。

この5日間を通じて、生徒の変容ぶりには目を見張るものがありました。ここで得たものを高校生活だけでなくその先に活かしてほしいと思います。

研修内容

12/22 (水)	オープニングセレモニー、Goal Setting Activity、アクティブに質問する効果的な英語プレゼンテーションについて学ぶ
12/23 (木)	Positive Thinking について考える、グループリーダーについて知る Project1:地域活性化イベント（高齢者も住みやすい街づくり）
12/24 (金)	My Identity について考える、プレゼンをする、質問を受ける Project2:テクノロジーと私たちの生活（スマートシティ）
12/25 (土)	Leadership について考える、自分の将来の目標について学ぶことの意義（将来の目標達成のために） プレゼンテーション原稿の作成
12/26 (日)	Project3:ダイバーシティ社会、プレゼンテーション準備 1人1人によるプレゼンテーション、クロージングセレモニー

